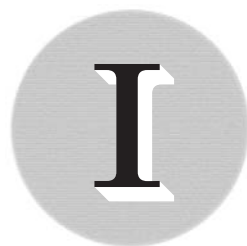


学部編



薬学部概要

5 卒業最低修得単位数の詳細

【2009年度入学生】

	薬学科
卒業要件	188
共通教育科目	40
キリスト教教育科目	4
総合教育科目 ※以下の5科目10単位を必修 心理学E 法学E 倫理学E コンピュータ操作技法A コンピュータ操作技法B	26
英語教育科目	8
S & E 教育科目	2
専門教育科目	148
基礎科目	16
基幹科目	30
展開科目（必修26単位、選択6単位）	32
実習科目	33
演習科目	27
卒業研究	10
自由履修科目	—

6 再試験制度について

薬学科では、専門教育科目（薬学PBL、薬学セミナー、CBL、卒業論文、文献調査、実験・実習及び実技を除く）の定期試験評価が「F」であった場合、各期再試験を実施します。また追試験・期間外定期試験においても、同様に再試験を実施します。再試験実施までの日程は次のとおりです。

【定期試験の再試験】

	前期科目	後期科目および通年科目
再試験対象者発表	2009年8月10日(月)	2010年3月1日(月)
再試験日	2009年8月17日(月)、18日(火)、19日(水)	2010年3月4日(木)、5日(金)、8日(月)、9日(火)
定期試験・再試験成績発表	在学生オリエンテーション 2009年9月18日(金)	次年度在学生オリエンテーション

【期間外定期試験・追試験の再試験】

	前期科目	後期科目および通年科目
期間外定期試験・追試験の再試験対象者発表	2009年10月14日(水)	2010年3月1日(月)
期間外定期試験・追試験の再試験日	2009年10月22日(木)、23日(金)、24日(土)	2010年3月4日(木)、5日(金)、8日(月)、9日(火)
期間外定期試験・追試験の再試験成績発表	次年度在学生オリエンテーション	次年度在学生オリエンテーション

※前期集中講義科目については、10月22～24日に実施します。詳細は掲示で案内します。

- ★各期試験の評価が「F」の学生は、全員再試験受験対象者となります。
- ★再試験の時間割は、各試験の再試験対象者発表時に、W10号館薬学部掲示板で発表します。
- ★再試験受験のための手続き
証明書自動発行機から「費用納入証明書」を1科目につき1枚出力し、試験当日、試験会場に持参してください。
- ★再試験料は1科目につき3,000円です。
- ★再試験の評価が「F」または「欠」の場合は、原則としてその科目は次年度再履修となります。ただし、次年度の再履修が不可能な場合、再試験に対する再試験（再々試験）の受験も認められます。したがって、再々試験は次年度の再試験日になります。
- ★卒業年度に限り、各期再試験の評価で「F」であった科目は、卒業年次対象再試験制度の対象範囲となります。
(卒業年次対象再試験についてはP. 共通20参照)

7 進級制限制度について

- ① 2年次終了までに修得すべき必修科目（共通教育科目及び専門教育科目）の内、6科目以上未修得のときは、3年次に進級することができません。
- ② 5年次終了までに共用試験及び実務実習の履修を修了していないときは、6年次に進級することができません。但し、共用試験については、現時点では不確定な点があるため、変更の可能性あります。

8 共用試験について

共用試験とは、CBT（Computer-Based Testing）と OSCE（Objective Structured Clinical Examination）から構成される試験です。実務実習を行うには、この両試験に合格しなければなりません。試験日程は以下のとおりです。

【共用試験】

	CBT	OSCE
2009年度本試験日	2010年 1月16日(土)	2009年12月13日(日)
追再試験日	2010年 2月23日(火)	2010年 2月21日(日)
試験料	25,000円（CBT、OSCE 併せて）	
追再試験料	12,500円	12,500円

CBT：実務実習に必要な知識を持ち合わせていることを確認する、コンピュータを用いた試験です。共用試験センターサーバに保存されている問題が無作為に選ばれ、インターネットを介して各受験生に送付され、それを受験生が解いていく方式で行われます。問題は310問で、10分野（ヒューマニズムとイントロダクション、物理系薬学、化学系薬学、生物系薬学、健康と環境、薬と疾病「薬理系」、薬と疾病「薬剤系」、薬と疾病「情報系」、薬と社会、実務実習事前学習）から出題されます。

OSCE：実務実習に必要な技能・態度を持ち合わせていることを確認する実技試験です。課題は、提示されている5ステーション「患者・来局者対応」「薬剤の調製（2課題）」「調剤鑑査」「無菌操作」「情報の提供」で、6課題を行います。

9 ホワイトコートセレモニーについて

共用試験（CBT と OSCE）及び実務実習事前学習の科目を修得した者は、ホワイトコートセレモニーへの出席を許可され、実務実習参加の認証を受けることができます。セレモニーは、学部長が真新しい白衣をネームプレートを一人一人壇上で手渡し、宗教主事が聖書を読み、祈りを捧げることで厳粛かつ整然と行われます。セレモニーの目的は、医療現場にでるためのモチベーションの高揚と倫理・道徳意識の向上、そして医療チームの一員として白衣を着用することの重みと意義について認識させることにあります。

10 薬学総合演習について

原則として、追試験・期間外定期試験の対象となりません。